

商 況

(日本製鐵販賣旬報第 108~110 號より抜萃)

昭和 13 年 3 月中鐵鋼關係日誌

- 1 日 鐵鋼協會は理事會及總會を開催同協會を社團法人鐵鋼聯盟に改組する件を可決す。聯盟の目的及組織の概要は、目的 鐵鋼需給の調整輸出入の適合、原料供給の確保、生産及配給組織の改善、技術の向上、作業能率の増進其他鐵鋼業の發達に必要な諸般の調査研究をなすこと。會員たり得る者は 銑鐵、鋼鐵、鋼材(鍛鋼品及鑄鋼品を含む)其他鐵鋼の製造を爲す法人又は個人。役員 會長1名、副會長2名、理事、監事、常務委員各若干名。
- 3 日 日本製鐵は爐材の自給自足をなすべく子會社として資本金 5,000,000 圓(½拂込)の日本爐材會社の創立總會を開催す。社長は中松眞卿氏、生産能力は年産 108,000t、工場は兵庫縣高砂、北海道室蘭の2ヶ所(黒崎窯業の煉瓦工場を買収)
- 2月の東京卸賣物價は1月に續いて更に昂騰の一途を辿り重要商品 45 項目の2月末日の地位を1月のそれと比すれば騰貴せるもの 31、低落は 11、保合 4 となる。
- 5 日 全國の賃銀指數(大正3年7月基準)の12年平均は 273.4 で 11 年平均は 258.2 に比し5分9厘の昂騰、之は下半期に行はれた軍需産業動員による男子労働者賃銀の騰貴に主因す。
- 7 日 今週の米國製鋼作業率は全能力の2割9分9厘と見積られ前週より 0.6% の微増。
- 大阪伸鐵組合は一般鐵鋼使用制限による需要の減少、輸入激減、材料不足の理由により曩に決定せる3割減産を更に5割となす。
- 8 日 歐米製鋼カルテル協定の事につきハンブルグよりの入報によれば歐洲鋼材カルテルは米國生産の8割を占むる製鋼業者團(US スチール、リバーブリック、ベセレベム製鋼の3社と推定さる)と協定をなし、歐米双方同値を offer する事となり協定値段は不明なるも是は嚴重にコントロールさるべしとの事。
- 日本鋼材販賣聯合會は臨時委員總會を開催、今般成立の鋼塊組合を其傘下に收むることとなりたる爲名稱を日本鋼材聯合會と改稱し規約中共同販賣組合の字句を所屬組合と改める等一部改正をなす。
- 鋼塊組合結成さる。加盟會社は日鐵、日鋼、中山製鋼、神戸製鋼、吾嬭製鋼、尼崎製鋼、大阪製鋼、大和製鋼、小倉製鋼、宮製鋼、住友金屬工業、日本亞鉛鍍鋼業、川崎造船、鶴見製鐵造船、大阪製鐵の 15 社、理事長は日鐵常務濫澤正雄氏と決定、事務所は日本鋼材聯合會内に設置。
- 日鐵は今般下記事務所開設せる旨發表す。
- (イ) 名稱 日本製鐵株式會社臨時建設局清津事務所
所在地 朝鮮咸鏡北道鏡城郡羅南邑東本町84番地
- (ロ) 名稱 日本製鐵株式會社北支事務所(華名、北京日鐵公司)

所在地 中華民國北京朝陽門大街 380 號

- 棒鋼共販理事會開催建値は据置。
- 東京爲替市場は米英が5弗 $\frac{7}{8}$ と $\frac{3}{8}$ 安、米日之に連れて 29 弗 10 仙に2仙方軟化した爲正金も對米建値を 29 弗 $\frac{1}{2}$ に引下ぐ。
- 昭和 13 年度本豫算(2,867,000,000 圓)成立す。

9 日 本日紐育よりの入電の外註値段は次の如し。(爲替 29- $\frac{1}{4}$)

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs
M. S. Bars (Base size)	\$ 54.32	¥ 189.88
" Angles (")	56.34	196.84
" I Beams (")	52.19	182.56
" Channels (")	53.20	183.03
" Plater (")	51.86	181.42
Sheel Bars (Common size)	38.35	134.92
Billets (")	38.35	134.92
Ingots (")	36.35	128.03

- 英國鐵鋼協會發表 2月中の鐵鋼生産高及熔鑄爐數は次の如し。(單位 1,000t、括弧内は前月)
- 銑鐵 693(761) 鋼鐵 1,058(1,081) 熔鑄爐數 124 基(130)
- 埃國政府は國內の趨向に鑑み來る 13 日埃國の自由獨立を維持するや否やを國民投票に問ふ事に決定す。
- 形鋼、鋼板共販理事會開催 建値は据置。

10 日 ブリキ共同販賣組合結成さる。加盟會社は日本製鐵、日本亞鉛鍍、東洋鋼板、淀川製鋼、中山製鋼、中山鋼業、扶桑鋼業、高砂鐵工の 8 社、理事長は日鐵常務濫澤正雄氏、事務所は日本製鐵内に設置の事と決定。

- 中國準備銀行開業本店北京、支店天津、青島、濟南、太原 新舊通貨の交換比率、新通貨と圓貨の爲替比率はパーとす。
- US スチール會社の2月中鋼材引渡高は 475,000t で前月より 43,000t の減。
- 本日倫敦より入電の外註値段次の如し。(爲替 $\frac{1}{2}$ -0)

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs
Cleveland No. 3 pig Iron	£ 6-18-0	¥ 120.13
M. S. Bars	9- 2-0	158.79
" Angles (2''x2' up)	"	"
" I Beams	"	"
" Channels (inch size)	"	"
" plates ($\frac{3}{4}$ " thick and up)	11-10-0	199.90
Black Sheets (3'x6'x13x107lbs)	19-10-0	336.91

○帶鋼共販理事會開催建値は据置と決定。

3 月上旬爲替相場

區分	對 英	對 米
3. 1	$\frac{1}{2}$ -0	29- $\frac{1}{4}$
2	"	"
3	"	"
4	"	"
5	"	"
7	"	"
8	"	29- $\frac{3}{8}$
9	"	"
10	"	"

11日 薄板共販結成さる。加盟會社は日本製鐵、日本鋼業、徳山鐵板、富永鋼業、東洋製鋼、東京製鐵、川崎造船、淀川製鋼、中山製鋼、吾孺製鋼、鶴見製鐵造船、中山鋼業、中山鋼業尼崎工場、大阪製鉄、大阪薄鐵板。

○大阪伸鐵工業組合第2回特別臨時賣出値段は丸鋼 10 圓下げ、角、平鋼は 5 圓下げと發表。

○半製品共販理事會開催 建値は据置と發表。

○13日に行はる可き埃國の國民投票はオースタリヤ・ナチ黨員を刺戟し各所に示威運動を行ひ、獨逸は埃首相シユシニニツク氏の辭職を迫り埃國ナチス領袖インカート内相を首班に内閣を組織すべき旨最後通牒を發したりと、一方埃政府は13日の國民投票は延期と發表。

○埃首相は辭職し後任はインカート内相に決定、而してイ首相は獨軍の出兵を要請す。

12日 埃首相は同國の獨立保證條項の破棄を宣言す。

○政府は國家總動員法運用機關を次の如く發表す。中央統轄機關は内閣、戦時にはその模様に応じ所要機關の新設又は擴充をなすと。

14日 米國の今週の製鋼作業率は全能力の 32.1% と見積られ前週より 2.3 の増。

○大藏省では日銀保證準備發行限度擴張は 1,700,000,000 圓とする事に内定す。

15日 近く公布さるゝ筈の滿洲國鐵鋼類統制法の要旨は鐵鋼類(銑鐵、鋼塊、各種鋼製品、屑鐵の生産數量、品種、輸出入の數量、品種、販賣價格、販賣條件及生産者より買受け若くは販賣の委託等は産業部大臣の認可或は指定を要すと
○國際オリンピック委員會會議で東京大會は 1940 年 9 月 24 日前後に開催と修正され決定を見る。

16日 獨立製鋼會社の一たるピッツバークのナショナル・スチール會社は、來る 4 月拂の第 1、4 半期通常配當を普通株 1 株(額面 25 弗)當 25 仙と發表、前期の 1 弗 12 仙に比し 87 仙の大幅減配である。

○3 月 1 日以降 12 月迄に於ける白耳義共販組合受註高は 18,700t で中 3,800t は國內向。

○國家總動員法案は 2 項目の附帶決議を附し原案通り、工作機械製造法案も亦衆議院を通過す。

17日 本日紐育より入電の外註値段次の如し。

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs
M. S. Bars (Base size)	\$ 54.32	¥ 196.27
" Angles (")	56.34	200.25
" I Beams (")	52.19	185.71
" Channels (")	53.20	189.25
" Plates (")	51.86	184.56
Sheet Bars (common size)	38.35	157.24
Billets (")	38.35	157.24
Ingots (")	36.35	130.25

○倫敦入電の外註値段は次の如し。

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs
Cleveland No. 3 pig Iron	£ 6-18-0	¥ 120.13
M. S. Bars	9- 2-0	158.79
" Angles (2' x 2' up)	"	"
" I Beams	"	"
" Channels (inch size)	"	"

" Plates (14' and up)	11-10-0	199.90
Black Sheets	19-10-0	336.91

○東京シーヤ-砂町工場第 1 平爐 (25t 爐) の火入式行はる。

18日 大阪製鉄では鹽基性平爐第 1 號 (公稱噸數 40t) の火入式を行ふ。

○ヒトラー獨總統は獨逸國會を解散し、4 月 10 日埃國をも含めて新選舉を行ふ旨言明す。

19日 一時危機を傳へられたる波蘭、リスアニア間の紛争は 36 時間の期限付を以て波蘭よりリスアニアに對し發せられたる最後通牒をリスアニアが受諾せし事により解決を見る。

○商工省は 5 月 1 日より臨時物資調整局を開設し、工作機械部、鐵鋼部の如き軍需關係物資に關する部には陸海軍現役軍人を選任する筈なりと。

20日 日本鋼管では今般天津に出張所を設置する事に決定。

3 月中旬爲替相場

月日	對 英	對 米
3. 11	1/2-0	29-1/8
12	"	"
14	"	"
15	"	29-00
16	"	"
17	"	29-7/8
18	"	"
19	"	"

22日 鋼管共販理事會開催 建値は据置と決定。

○歐洲鋼材の買得べき實際相場は棒鋼、形鋼は 10 磅にして前電に比し 12 志の暴騰、鋼板は 9 磅 18 志にして 12 志暴落を示す。其の原因は歐洲鋼材カルテルの米國製鋼業者との値段協定が實施さることとなり、棒鋼形鋼は米國に比し安値なりし爲値上げし、鋼板は米國協定外の製造家値段著しく安き爲之に對抗上値上げす、尙先行見込は氣迷商狀なりと。

23日 對米爲替相場に就て從來の各爲替銀行の裁量を認めて各自のレートを出してゐたのを改め英米クロスの正金への最終入電を基礎とし對英 1 志 2 片を以て裁定し相場の刻みは 1/8 とすと協定成り、本日より實施す。

○銑鐵共販では次期 4~6 月渡の建値を 81 圓据置、數量は 75,000t (内 30,000t 滿洲銑、45,000t 印度銑) と決定。

○米國今週の製鋼作業率は 33.7% で前週より 1.6% 方續騰し、昨年 11 月第 3 週來の高率を示す。之は農家及建築方面の季節的需要に基くものなりと。

○棒鋼、線材共販理事會開催 建値は据置と決定。

24日 大阪伸鐵工業組合 4 月渡第 1 回特別臨時賣出値段は全部据置。

○鋼板、形鋼共販理事會開催 建値は据置と決定。

○濠洲聯邦政府は鐵鑛資源不足の爲鐵鑛の輸出禁止をなすべきや否やに就き調査中にして暫定的に輸出許可制採用の模様なりと。

○本日紐育より入電の外註値段は次の如し。(爲替 28 1/2)

	per 2,240 lbs	per 1,000 kgs
M. S. Bars (Base size)	\$ 54.32	¥ 193.18
" Angles (")	56.34	200.25
" I Beams (")	52.19	185.71

" Channels (")	53.20	189.25
" plates (")	51.86	184.56
Sheet Bars (Common size)	38.35	137.24
Billets (")	38.35	137.24
Ingots (")	36.35	130.25

25日 製鋼原料懇話會では内地屑鐵共同購入値段は特級品 102圓 1級品 97圓据置と決定。

○米國鋼材輸出組合は日本向値段、鋼板 100lbs に付 5.5仙 棒鋼 8.5仙引下げたりと。

○獨逸鐵鋼協會發表 2月中の獨逸鐵鋼生産高(單位1,000t) は銑鐵 1,349 (前月 1,438)、鋼 1,770 (前月 1,812)

○ルクセンブルグの1~2月中銑鐵生産高(單位t)は 261 (昨年同期 401) 同鋼は 243 (昨年同期 408) 尙2月末現在の操業熔鑪爐数は19基で1月末より3基の減少。

26日 商工省では鐵鋼配給統制に關し業種別配給統制協議會を設立し、同會より需要者には證明書を交付しそれに依て配給を實施する方針に内定近く省令を公布する模様なりと。

○第73議會は本日1日會期の延長を命ぜらる。

○電力國家管理法案は原案通り成立す。

○日華經濟協議會成立す。支那側委員長王克敏氏、日本側委員副會長平生鈞三郎氏。

○2月中全國生計費指數は 200.8 で前月に比し 0.9% の昨年12月に比し 3.3% 高を示す。

○昭和12年7月を 100 とする3月分東京市勞働者生計費指數は 106.7 で2月より8厘の上昇、同給料生活者の分は 106.0 で2月より6厘の上昇。

○漢口政府の第2回外貨賣却は 1,500,000 磅の需要に對し 489,000 磅と云はれ、爲替の先行に對する不安濃化し對英1志、對日 85圓見當に崩落す。

27日 第73議會閉院式舉行さる。

○北京西郊の石景山製鐵場の興中公司の復舊工事は日鐵が繼承し、コークス工場を新設して銑鋼一貫作業を行ふ事になりたりと、尙同製鐵場の機構は年産 8,000,000t、熔鑪爐 2基、原鑪は龍烟鐵鑪より、コークスは井陘無煙炭より受く

28日 今週の米國製鋼作業率は 35.7%、前週より 2.0% 方續騰す。

○三軌會賣出協議會開催 建値は据置と決定。

○中華民國中央新政權たる中華民國維新政府は三權分立の憲政制度の實行、共產主義の防滅を主たる國本として成立す

29日 米國商務省發表 2月中銑鐵輸出高(單位 1,000t)は 54 (前月 36) 同屑鐵は 357 (前月 357) と發表。

○紐育株式市場は先週來落潮著しく US スチール株も 1935年7月來の安値たる 39弗³/₄に下落す。

30日 米國財務省は前日外國銀の買入相場を 1仙方引下げ 1オン ス當 44仙と發表したが、本日更に 43仙に引下ぐ。

○1月の全國名目貨銀指數(大正3年7月基準)は 280.7 で前年12月に比し 1分9厘の低落、實質貨銀指數は生計費の續騰に因り前月より 2分6厘の低落。

○東京伸鐵工業組合 4~5月渡賣出値段は丸鋼 7.5, 11, 230圓 9, 12, 235圓, 角鋼 6, 245圓, 7.5, 9, 12, 235圓, 11, 238圓, 山形 3mm 厚 19mm 300圓, 25, 32, 38, 280圓, 平鋼 3mm 厚 9mm 245圓, 12, 242圓, 16, 19, 22, 25, 32, 235圓, 38, 238圓, 44, 240圓, 6mm 厚 9, 245圓 12, 240圓, 16, 235圓, 9mm 厚 12, 250圓, 16, 240圓と發表(寸法

は耗)。

31日 4~6月渡日鐵銑の建値は 81圓据置と決定。

3 下旬月爲替相場

月日	區分	對英	對米
3. 22		1/2-	28 7/8
23		"	28 5/8
24		"	"
25		"	"
26		"	28 7/8
28		"	"
29		"	28 5/8
30		"	29
31		"	28 5/8

大陸情況

獨逸の鐵鋼輸出概況 獨逸に於ける 1937 年中の鐵鋼輸出高が明にされた。鋼塊生産高との對照を示せば次の如し。

(單位 t)	鋼塊 生産高	鐵鋼 總輸出高	内 層 鐵	譯 鐵 鋼
1929 年	16,246,078	5,813,358	237,890	5,575,468
1932 年	5,770,105	2,482,802	293,280	2,189,676
1933 年	7,611,789	2,138,865	186,679	1,952,186
1934 年	11,916,426	2,565,565	94,553	2,471,012
1935 年	16,446,673	3,216,603	74,404	3,142,199
1936 年	19,207,964	3,688,069	57,760	3,610,309
1937 年	19,848,824	3,688,500	5,347	3,683,153

(註、1935年2月以降はザール地方を含む)

1937年の鋼塊生産高は 1929年より 3,603t の増加を示して居るが、逆に鐵鋼輸出は 1,892t の減少となって居り、獨逸國內需要が如何に増大してゐるか之に依て知られるのである。

主要品種別輸出高(單位 t)

	1937年	1936年		1937年	1936年
銑鐵	98,936	241,150	半製品	111,074	190,997
棒山	773,247	628,807	形鋼	162,018	162,817
帶鋼	171,317	153,195	鋼板	341,519	310,462
亞鉛鍍板	19,452	29,504	ブリキ	136,915	121,690
軌條、附屬品	199,273	242,628	線、線材	332,647	295,746
チューブ	478,068	376,302	パイプ	100,474	94,332

品種別輸出高に就て見るに、銑鐵及半製品は 1936年より約 222,000 t の減となつてゐるが、之は國內需要に向けられたが爲であらう。

製品の輸出は全般的に増加して居る。

半製品を含む大陸カルテル統制品種の輸出割合は 1936年は總輸出高の 61.5% を占めて居たのであるが、1937年は 61% となつてゐる。

白耳義ルクセルブルグ鋼材輸出高

白耳義ルクセルブルグ主要品種別輸出高(單位 t)

	1937年 (概數)	1936年		1937年 (概數)	1936年
形鋼	670,000	545,000	棒山	1,110,000	873,000
フープ、ストリップ	210,000	179,000	鋼板	465,000	452,000
亞鉛鍍板	160,000	176,000			

佛蘭西鋼材輸出高

佛蘭西主要品種別輸出高(單位 t)

	1937年 (概數)	1936年		1937年 (概數)	1936年
半製品	278,000	289,000	棒形	703,000	581,000
帶鋼	46,000	33,000	鋼板	100,000	52,000
軌條	118,000	74,000	線材	137,000	110,000

和蘭の鐵鋼輸入概況 1937年中の鐵鋼輸入高は 1,258,000t に達し、1936年輸入高の 36.7% 増となつて居るが、1929年の 1,454,000t には遂に及ばなかつた。

年別鐵鋼輸入高 (單位 t)

1929	1,454,000	1930	1,205,000	1931	1,033,000
1932	761,000	1933	843,000	1934	931,000
1935	787,000	1936	920,000	1937	1,258,000

大陸鐵鋼界に於ける最大の輸入國である事は、過去に同じく將來も續けられるであらう。然し 1938 年の輸入情態に就ては聊か疑問を持たれて居る。即ち和蘭製品を買てゐる諸外國の經濟事情は過去數ヶ月間芳しからざるものがあり、昨年 9 月中の和蘭總輸出額は 113,186,000 フロリンであつたのに對し、12 月は 98,163,000 フロリンに落ちて居るのである。

萬國商業會議所の和蘭代表 Fentener Van Vlissingen. 氏は國際的經濟界の前途に就き非樂觀的な所見を述べ、「現在諸國の經濟界は好ましからざる種々の難問に當面して居り、是等の障害は容易に除去し得るものでは無く、經濟界の蒙る壓迫は全面的なものとなるであらう」と言てゐる。

然しながら和蘭のみに就て考へれば經濟界は左程の影響を受けて居らず、財界の留保狀態も頗る満足な點に迄到て居り、尙ほ特異な好況を續けてゐる部門もある。

一例として和蘭造船業を見るに、商船の建造受註噸數は、1937 年最後の 4 半期は前期より 64,000t 増の 289,000t に達して居る。又國內製鐵業方面を見るに Ijmuiden に在る Koninklijke Nederlandsche Hoogovens 會社は從來銑鐵生産高の大部分を輸出 (1936, 7 兩年は約 240,000t を輸出してゐる) に向けて居たのであるが、今回製鋼工場の建設を決定したので、製鋼能力は未だ明にされて居ないが、兎に角今年末迄には和蘭も製鋼國となる譯である。尙其の後壓延工場も同一會社に依り建設される事とならう。

主要國別輸入高表 (單位 t)

年次	1937 年	1936 年	1935 年
獨逸	514,188	494,635	352,019
白耳	426,838	296,216	267,089
ルクセンブルグ			
佛蘭	70,571	42,356	47,578
英西	107,165	72,515	81,235
米國	45,935	20,067	6,398

主要品種別輸入數量表 (單位 t)

年次	1937 年	1936 年	1935 年	1934 年
銑鐵	16,519	13,551	11,570	30,506
棒	138,358	113,700	92,109	394,147
鐵筋	118,202	72,213	64,028	
鋼	213,225	146,840	108,554	122,244
鋼板	284,866	197,401	136,190	
亞鉛鍍板	11,481	19,489	15,413	289,517
帶(亞鉛鍍を含む)	44,061	30,544	30,598	34,249
線	64,066	47,402	42,153	68,104
軌條, 附屬材	56,192	32,289	44,542	70,884
パイプ	27,040	23,859	33,116	74,834
チユーブ	51,723	45,596	47,206	62,158
ブリキ	73,193	60,521	51,981	55,650

英國の鐵鋼生産及輸出入高

年次	鋼塊 鑄鋼生産高	年末に於ける 製鋼能力
1929 年	9,600,000t	11,000,000t
1936 年	9,900,000	12,750,000
1937 年	12,900,000	13,500,000
1938 年	—	14,000,000

品種別輸入高 (單位 1,000t)

	1929 年	1935 年	1936 年	1937 年*
Pig-iron and ferro-alloys	153.0	128.2	310.6	704.1
Semis and wire rods	1,121.8	446.5	634.1	627.3
Bars, rods, sections, etc.	717.2	330.7	268.0	189.1
Hoop and strip	173.1	66.4	54.8	65.8

Plates and sheets (above 1/8 in.)	153.3	41.4	26.9	24.5
Black plates and sheets (under 1/8 in.)	34.4	6.3	15.2	10.9
Railway material	11.7	12.4	15.6	7.6
Tubes, pipes, etc.	110.5	24.2	31.0	41.6
Wire, wire nails, etc.	140.2	34.9	49.9	50.8
Other products	207.1	61.0	77.0	192.5
Total	2,822.3	1,152.0	1,483.1	1,914.2
Total value (£ million)	15.9	8.7	11.7	18.6
Iron ore	5,623.6	4,502.9	5,915.0	6,851.2
Scrap	67.6	437.7	1,085.2	957.6

* Based on 11 months.

品種別輸出高 (單位 1,000t)

	1929 年	1935 年	1936 年	1937 年*
Pig-iron and ferro-alloys	545.1	158.4	111.6	170.8
Semis, wire rods, etc.	27.1	29.8	32.8	44.5
Bars, rods, sections, etc.	429.5	244.0	214.7	209.4
Hoop and strip	60.0	51.4	49.0	57.9
Plates and sheets (above 1/8 in.)	196.5	183.3	159.0	192.2
Black plates and sheets (under 1/8 in.)	312.4	192.5	162.2	197.9
Galvanised Sheets	711.8	271.2	225.0	234.8
Tinned and terne plates, etc.	580.8	345.1	370.4	471.1
Railway material	385.9	123.9	205.0	212.4
Tubes, pipes, etc.	454.1	325.4	301.3	379.9
Wire and wire manufactures	132.7	90.1	94.4	111.8
Other products	543.6	356.8	311.2	348.4
Total	4,379.5	2,371.9	2,236.6	2,631.1
Value (£ million)	68.0	37.1	36.7	49.1

* Based on 11 months.

英國鐵鋼商況 英國工業協會に依て言はれたる「工業界の低調傾向」及某一流銀行の述べたる「商業界の繁忙は微かなる後退を示してゐる」等の如く、經濟界に於ける好ましからざる様相は今年 1 月以降特に顯著となつてゐる。此の傾向は最近の雇傭情況報告にも反映して居り、失業者も今後徐々に増加するであらうと報じられてゐる。失業者數は職業別に記載されてゐるが、實際よりも可成り修整された數字である。

取引の減退せるものは主として基本商品 (Capital goods) よりも消費的商品であり、重工業方面への影響は僅少に止まつてゐる。

然しながら、米國の經濟界は過去數ヶ月間沈滞に悩まされて居るのであるが、その米國と關連してゐる國際的經濟情勢より見れば、英國の經濟界は未だ未だ健全性を失つてゐるとは言へまい。事實經濟界の諸條件は満足すべき状態である。

英國鐵鋼業に關しても、配給は各方面共容易に行はれて居り、消費者等は必要の品種を充分に獲得してゐる、とは言へ配給の問題は其の生産との關係に於て充分研究されねばなるまい。

銑鐵及鋼塊の生産能力は着々と増加し、特に銑鐵の増産計畫は今尙引續き行はれて居り、大陸よりの半製品の入荷も頻繁となつて來て居る。

鐵鋼市場は現在季節的閑散に陥入て居り、新規注文は減少して居る。消費者等の多くは、昨年中鐵鋼の入手難を慮ばかり必要以上の購入をした爲、市場は一時的に手空きとなつたとも見られるが、現在では此の入手難も大いに緩和されてゐる。

銑鐵が増産されてより供給方面は大分改善されるに至つた。普通銑の消費者等は國內物のみにての不足分を海外より仰いで居たのであつたが、之はつい 2-3 ヶ月前迄の事であつた。最早彼等の欲してゐる銑鐵は充分得られ、今まで皆無であつた在庫をも彼等の工場に置き得る事となつた。

銑鐵の消費部門中 1, 2——主として輕工業及モーター工業——の如く繁忙を減じられたものもあるが、其他の方面は依然として活潑であり、全般的に實需要は決して衰へを見せてはゐない。

鋼材に就て見るに、薄板及ブリキの需要減退が多少鼓張されて傳へられてゐる。

薄板の輸出貿易は大いに落ちて居り、ブリキの註文も昨年末に比し遙かに減少してゐる。

此の事は半製品の供給状態に反映して居る。即ち昨年は需要に比し供給が非常に少く、爲に壓延工場は或期間休業の止む無きに至たのであつた。其後海外よりの輸入増加と配給統制に依り不足は除々に和らぎ、現在に於ては前に述べた薄板やブリキの需要減と相俟て、工場はシートバーをビレットへ轉換するに至たので、壓延業者等は十分に材料を入手し得る事となり、需要に連れてバー類やストリップ等を引くことが出来る様になった。事實中、小形物の供給は年初頃より可成り増加されてゐる。

鋼板や工形及其他の形物は相變らず忙がしく、需給を平衡させる事は今尙尙相當困難と見られて居り、斯うした情態は將來未だ未だ續きそうである。軍需は莫大な量に上り、鐵道の大計畫、新工場の建設や擴張、其他大規模の公的事業案等が報じられてゐる。

新規註文は尠いが、之は價格が安定させられた爲であらう。消費者は生産業者が需要に應ぜんが爲努力しつゝある事情を了解してゐるので、數ヶ月前に註文を殺到させて工場を苦しめたが如き事をせず、發註を手控へて居るが、彼等の必要な時には充分間に合ふと安心して居る。

構造用鋼製造組合長の聲明に依れば「1938 年末迄鐵鋼價が据置とせられた事に依り業界は秩序立てられるであらう」と言て居るが、此の鐵鋼價不變の一節は英國鐵鋼聯合會の委員長アンドリユー・ダンカン卿に依り承認されたのであつた。

値下げが將來行はれるであらうとの期待は一般の抱いてゐる所で誰しも都合の良い事は信じ易いものであるが、實現性の可否を見定める事は困難である。生産原價も殆んど變りはあるまいが、どちらかと云へば今年中は高くなるであらう。勞働賃銀も休日支拂制に依りもつと高くなりそうである。骸炭値段も昨年より高く契約されて居り、鑛石運賃は下て居るが工場持込みの價格は依然として高い。

若し其處に多少とも下向氣配が在れば直ちに生産高に現はれて來可きものであるが、生産高の落ちる事を豫期する理由は現在見當らない。1 月中生産高は 12 月より微減を示してゐるが、年初の休日が續いた點を考慮に入れば寧ろ満足すべきであらう。鋼塊生産高は例年の 1 月に比し最高を示してゐる。

不幸にも英國の人々は經濟活動が多少とも安定させられたとの觀念に未だ馴染んで居ない。即ち價格の上昇が抑止されたから、下向が間もなく來ると一般は考へてゐる。だが正常な判斷を下し得る人々は、經濟界は相當期間中好況を持続するものと見てゐる。

斯の如き證言に依り、經濟界前途の見透しに就き聊か躊躇して居た者も、安心して事業を始め計畫を實行し、現下の好況に逆行しないであらう。

最後に若し前途が穩健であるとすれば、輸出貿易は益々進展し、生産の増大に依り國內消費筋への配給情態も良好となるのであるが是等は一に得意先の有無に依る事とならう。然し乍、今日に於ける貿易や取引の隆盛が破壊せられぬ中に國際間の諸問題に關する變革を爲す事が必要となるであらう。(1938, 2, 11. アイアン・エンド・コール・トレード・レビュー誌)

一般事情 佛蘭西、白耳義及ルクセンブルグでは熔鑛爐の出銜を中止するものが次々と増加して居り、製鋼工場や壓延工場に於て

も高率の操短が行はれてゐる。

公式發表に依れば、白耳義の稼働熔鑛爐数は、1 月初め 50 基、2 月初め 44 基、同月央 40 基、同月末には現存 63 基中平常通りの活動を續けてゐるのは半數の 31 基とのことである。

1 月末頃より 2 月及 3 月中旬の現在迄工場への註文は極めて少く爲めに生産コストは益々高くなりつゝある。在庫の品種も頗る不揃となりつゝあるが、買手は仲々現れて來ず、此の状態では 2~3 ヶ月は期待出来まい。

消費筋の當用買は一般的傾向となつて居り、事實現品の引渡は非常に早く行はれて居るので、何も將來の使用分を現在買て置く用は無いとの意見の様である。

斯の如く大陸鐵鋼界は春季需要への期待を持ち得ず惱みを續けてゐるが、其處にはまだまだ大きな難問が横たはつて居り、買手が市場へ現れないのも夫等の次に述ぶるが如き諸點に據るものと見られてゐる。

1. 米國鐵鋼業との新關係如何

カルテルの商事委員會が 2 月 25 日パリにて開かれ、歐洲側の對米態度決定に關する豫備協議が爲され、次記諸項が決定された。

1. ロンドンに一般統制本部を置き、大陸、英國及米國より各 1 名の代表を出す。此の本部は前記 3 グループの販賣を統制し、且つアウトサイダー、特に米國アウトサイダーの競争に對抗する事とならう。
2. 市場分野の決定。主として極東市場を米國に譲り、其他の市場を大陸及英國に委ねる事。
3. ドユツセルドルフ協定の約款（昨年 12 月 9 日に行はれたる米國との協定なれども詳細未發表）は依然有效とするも、1 月 17 日パリに於てカルテルの決定せる價格に基礎を置く事。

斯くする中 3 月 2 日よりブラツセルにて開かれたカルテルの定期會合に於て、米國との競争上日本向に對し次の如く公定値引が行はれた。

棒、山 15 志(金貨) 形鋼 5 志(同) 鋼板 15~20 志(同)

2. カルテルの存續問題

大陸鐵鋼カルテルの存續期間は來る 6 月 30 日を以て終るのであるが、其の存續問題は各方面から注目されてゐる。

カルテル加盟の 4 國理事會員等は既に 2 月末改組試案を作成すべく指示書を受けて居る。再組織の進行も種々の要求乃至希望等の程度に依り遲速する事とならうが、カルテル當局の見るところでは、早急實現の機會多しとの事である。ブラツセル會議に於ては之は公式議題とはならなかつたが、4 國業者間の私的豫備交渉が爲され、獨、佛、ルクの 3 國は原則的に現行クォータに基礎を置き、カルテルの存續に賛成したが、白耳義は高率のクォータを要求してゐるとの事である。

3. 國際政情の不安

4. 値頃不安と同時に近く公定價格引下げの豫期

上の他英國の鐵鋼關稅引上説が大いに影響を及してゐる。英國の鐵鋼關稅は昨年限免或は全免されたのであるが、4 月 1 日より従前通り引上げられ、カルテル加盟國よりの輸入に對しては 2.5% から 10% へ、非加盟國の夫れには 12.5% から 20% へとなるであらう。

1937 年中英國の輸入高は、カルテル加盟國より 1,112,309t で 1936 年に比し約 178,000t 増、非加盟國より 927,154t で 1936 年に比し 379,000t 増となつてゐる。國別輸入は次の如くである。

		1937年	1936年
(單位 t)			
米 國	315,412	18,340	白 耳 義
佛 蘭 西	316,540	—	ル ク セ ン
獨 逸	183,572	—	ブ ル グ
			528,121
			134,076

英國の關稅引上が實現すれば、世界市場に於ける國際間の競争は益々激化するであらうし、復若し英國がカルテル諸國よりの輸入量を原規約通りに制限すれば、年間 525,000t となり、此の數字は 1937 年中白耳義よりの輸入のみにて既に超過されて居り、白耳義鐵鋼界は甚大なる影響を受ける事となるのである。

前述の如く、カルテルの更改に際し白耳義鐵鋼業が高率のクオータを要求してゐるのも當然視されるであらう。

- カルテルはブラッセル會議に於て次の如く市場對策を決定した。
- 1. 1月17日のパリ會議に依る公定價格は据置と決定。
- 2. 日本以外に對しては競争値段(米國との)を出さぬ。
- 3. 販賣統制を益々強固にし、處罰を重くす。即ち、違反に對しては t 當り 2 磅(金貨)の罰金を徴し、再度の違反には 3 ヶ月間の販賣停止を行ふ事となつた。

此の制約を受けるものとしては、鐵鋼會社は勿論、各販賣組織及輸出業者等カルテルの組織下に在るもの全部を含む。

白耳義鐵鋼市場 カルテルの此の決定に依り、市場には急に値段調への引合が現れて來た。今迄價格不安定の爲日見の態度で市場に望んでゐた買手も、最早カルテルの強硬態度に依り値下げは望み得無事を知た様である。

他方賣手側に於ても、公定價格より遙かに下廻てゐたシンデケート物の賣値を徐々に引上げるに至つた。3月初め 15 志の値引をしてゐたのは、直ちに 10 志引となり、10 日頃には 7 志 6 片引となつてゐる。

カルテルとは比較的獨立の立場に在る白耳義再壓延業者等できへ 4'12'6-4'14'0 (金磅)の相場を 5-5-0 FOB と引上げ、商人の口銭は僅かに 3 志となつた。

白耳義共販の 2 月中受註高は 51,200t で組合創立以來の最低である。

		1938年		1937年
(單位 t)		2 月	1 月	12 月
半 製 品	6,900	41,000	31,000	
棒, 山	19,300	27,000	20,300	
形 中 板	5,200	6,000	4,000	
厚 中 板	15,100	10,000	19,900	
薄 板	4,700	14,000	9,000	
計	51,200	98,000	84,600	

3 月 10 日ブラッセル市況

銑 鐵 今週に這入てから、英國への積出が急に増加し、在庫は多少減た様である。市況は稍々草たまり、相場は鑄物用 3 號銑 3'11'0-3'12'6 (紙幣) FOB、ヘマタイト銑は 850-855 白耳義法である。

半製品 第 1 週 5 日迄の共販受註高は 2,000t 弱で殆んど白耳義再壓延業者向となつてゐる。

成 品 買手は依然として注意深い態度を捨てない。然しながらメーカー等は、買手も必要の品は買はねばなるまい、との確信を持って居り、數日來此の傾向は特に明らかなものとなつて來て居る。未だ充分な註文は來ないが、値引は 1,000t 以上の大口契約に限られて居る。

棒, 山 メーカー、再壓延業者共に 5-5-0 (金) FOB の公定相場場を出してゐるが、註文は僅少である。

3 番アイアンバー 消費者等は棒鋼の代りに此の品種を買つてゐる

が、相場は前週と變らず 7-0-0 (紙幣) FOB である。

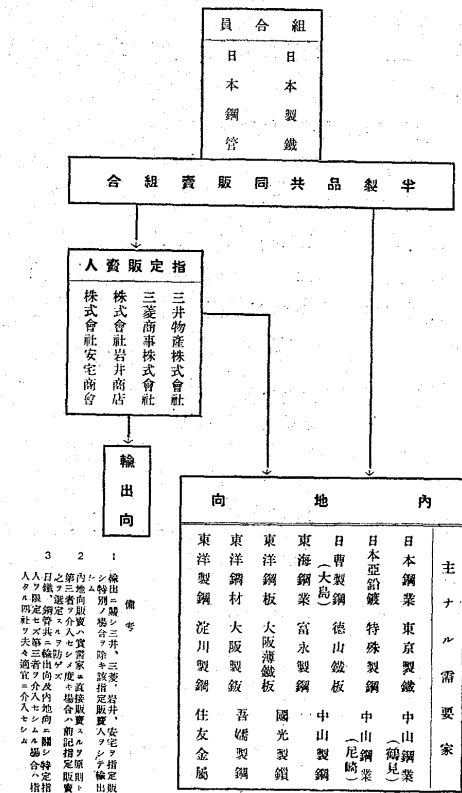
帶 鋼 ホットロール物は芳しからず 5-0-0 (金) FOB、コールドロール物は公定相場が順調に維持されてゐる。

厚中板 値引は殆んど行はれ無くなつたが、海外市場に對しては矢張り外國との競争上 20 志 (紙幣) の割戻が行はれてゐる。造船用鋼板には最近露西亞より大口註文が來たが、引續き和蘭より發註が期待されてゐる。

薄 板 米國の競争は大いに緩和されて來た。工場は閑であるがメーカー等は値引を 15 志 (紙幣) 程度に止めんと努めてゐる。

亜鉛鍍板 寸法や向先に依り 10-20 志 (紙幣) の値引が今尙行はれてゐるが、近々此の値引も無くなるであらう。既にメーカー等の中、値引を拒絶してゐる者もある。

線 材 商内は極めて閑散で 5-0-0 (金) 以下で賣られてゐる様である。ロッド成品の受註は依然不規則であるが、相場は不變。



半製品共販販賣經路 (昭和十三年三月二十四日現在)

ブラッセル通信

(2 月 11 日 發信) 市況は不相變人氣氣迷ひ姿にて商談は當用口に限られ相場の先安期待にて現に新公定相場を下廻る値段にて取引せらるゝもの有之候。一方各國軍擴に伴ふ鐵鋼材の實需要の莫大なるものあることは事實なる故前途の市況見透のつくときは一舉に買出すならんと申居候。

1 月中の白耳義鋼產 220,200t (12 月中 257,000t) 昨年下半年平均月產 340,000t に比し激減を示し申候。

(2 月 18 日 發信) 市況は當用口註文以外は至て閑散無爲に買手は相場前途安を見越し且又新カルテル結成條件の見透のつく迄は何れも見送りの姿に御座候。

月初より 12 日迄の Cosibel 入註は 30,000t にして共販組織以來の入註薄と申居候。

半製品市場も漸く英國筋の新規註文激減のため業者も前途案じ氣配にて近く新安値の發表を期待致居候。

(2月25日 發信) 市況は不相變閑散を極め居候。

最近の歐洲國際政況は獨逸關係、英伊關係等中々多事にして當分此等國際關係の緊張は一般經濟人に前途不安觀を與へ益々取引は細り行くこと止むを得ざる次第に御座候。

目下鐵鋼界は6月末のカルテル更改條件に多大の關心を有し、獨逸業界の事情は現カルテル結成當時と異なり政府の計畫經濟の徹底的實施により今回は交渉の模様大分變るならんと申居候へ共國策會社 Herman Goering 工場と Stahlwerkverband と關係等相當復雜のことに存候、一方カルテルは現状の儘3ヶ年更改繼續を獨逸政府は認むると申居候。

19日迄の白耳義共販 Cosibel 入註 38,000t、輸出内地向半々共販組織以來の薄商内と云はれ申候、今週は巴里に國際共販機關幹部會又來週はブラッセルに國際軌條カルテル(イルマ)並に國際鋼塊カルテル幹部會(Gomiti-Diricter dr l' R. I. A) 薄板カルテル等の協議會開かるゝ筈。

4月1日以降英國鋼材關稅率は割當品に對しては10% 以外のものは33% となる由。

社内物品整理名稱中改正の件

昭和11年7月27日社報甲第9號を以て當社作業製品中鋼材類の名稱を第6回營業期分より整理統一の事に制定されたるを以て、昭和11年8月25日發刊販賣旬報第56號に該整理名稱を「鋼材類の整理名稱」と題し一括掲載したるが昭和13年3月17日社報甲第2號を以て該整理名稱中の特殊ルツボ鋼板の項の次に左記を追加し、第9回營業期分より整理統一の事となった。

一般原價計算を爲すべきもの名稱		決算其の他に於て包括する場合の名稱	事業計畫其の他に於て統括する場合の名稱	備考
防彈鋼板第1種甲	寸法範圍	一般原價計算を爲すべきもの名稱通り區分のこと	特殊鋼製品	
防彈鋼板第2種乙				
防彈鋼板第2種				

日本鋼材聯合會の概容(昭和13年4月4日現在)

名稱	日本鋼材聯合會
舊稱	日本鋼材販賣聯合會
改稱期	昭和13年3月8日
加盟員	日本製鐵 外16社(舊に同じ)
統制品種	半製品共販組合、棒鋼共販組合、形鋼共販組合、線材共販組合、帶鋼共販組合、鋼板共販組合、鋼管共販組合、鋼塊組合の統制品種並に薄板共販組合、ブリキ共販組合の統制品種
設立期	昭和12年10月22日(舊に同じ)
存續期間	昭和15年9月30日迄(舊に同じ)
組織及運用	1. 半製品、棒鋼、形鋼、線材、帶鋼、鋼板、鋼管の7共販組合及生産統制機關たる鋼塊組合を所屬組合として之を統轄し、別に薄板共販組合及ブリキ共販組合を其の統制方針に従はしむ。 1. 生産統制機關たる鋼塊組合が加盟せるに依り、共同販賣組合或は販賣若くは價格のみに言及せる條項は之を修正し、生産統制の強化に即應せしめ、鋼塊組合の存在を明にす。 1. 販賣管理部を管理部とし生産と販賣の二部門に分ち事務を管掌す。(其の他舊に同じ)

註 販賣旬報第104號掲載の鋼材統制機關一覽表を参照

東西市況

上旬萎縮 過般來喧傳されてゐる例の工業組合を先驅とする配給統制策が、強大なる壓力となつて市場を萎縮せしめ、茲許懸念、不安と云ふやうなものを漂はせてゐる。

市場開闢以來の大變革來の聲も有り、事實其の對策に腐心して安んずり得ぬ向が多い情勢である。

折も折、曰く言ひ難き事情が有るとか無いとか云はれてゐるが、それは措いて、引續きベース・アングルの出廻りが順調に過ぎ、遂に成行に於ても20圓臺を割るに至つたので、依然たる需要の沈滞等と彼是相俟て、市場を一層無氣力と爲し、更に鈍狀ならしめてゐる。

從て成行は一部品掠で如何とも致し難い物は別として、賣抜けんとする氣配も生じ、總じて鞘寄せを呈しつゝ下追ひを續けてゐると云はれてゐる。

中旬沈滞 鐵鋼界は生産、配給、消費の各部門即ち全面的に、強力にして且つ前進せる統制策が着々整備されつゝある。未組織部門が盛に組織化されつゝある。

所謂計畫的に需給は調整される。

時局を背景とし、國策に沿ふて計畫的に生産、配給、消費を統制するとすれば、披量に於て値段關係に於て市場は否應無しに相當大きな重壓を受けざるを得ない。

從て、配給機構には積極的に變革を來さぬ方針のやうであるから所謂鋼材市場が消えて無くなること云ふやうな事は勿論無いであらうが、移り變りの際は、得てして疑心暗鬼を生じ、物事を悲觀的に眺め、用心が退嬰的ならしめ勝ちなので、市場の存否にまで思ひを廻らして大分懸念してゐる向が無いではない。

此のやうに、何れかと云へば、市場へ何處へ行く、と云ふ觀が潜在してゐる際なので活氣の見られぬは元より少からず萎微、沈滞して相場は一路建値に鞘寄せを演じてゐる。

下旬統制強化 行く手には尙ほ幾多の峻險が横てゐて、坦々たる境地に到達したのではないが、どうやら一つの峠は越したやうである。

縱横無盡に錯綜する迷路の中から歩むべき運命の道は探り當てた一先づ來る處まで來た觀がある。

指定種、指定量の購買許可證明書付の需要には優先的に一定の相場で賣應せしむると云ふ市場の行き方の大本が決定した。

同時に所謂指定問屋が全國的に、多分單一的に、商業組合を結成し、手のつけられる物からプール制を採用し、相場を自發的に統一する事となり、所謂特約店も大體之に準じて組織化され行動する事となったやうである。

此の市場關係の行き方が、據て以て生れもし、生命を與へられ、意義づけられもするのは、一定期間の全メーカーの受持生産量を定め更に必要性に應じて品種別、寸法別の製作比率を決し、次でそれを國家的見地に於て重要と認める需要部門の順位に従ひ、必要の數量に按分すると云ふ生産、配給の根本方針が成たからである。

縦と横、前と後、左と右に及び、各々が連鎖の一環となり、此處に劃期的の統制形態が出来上り、或は出来上りつゝある。

市場は生きるものである。從來のそれとは大分相異したものであるにせよ、市場は此處に新使命を負ふて嚴然と更生する事となった。

確に一つの峠は踏破した。

更に思ひを廻らせば、之れが果して良い結果を得るや否やは別として、自由主義思想に基く經濟策が往時に於て妥當であつた如く、

此の行き方も亦我が國の今日に於ては自然のものであり、時代の必要がそうさせたのであるから、斯うなつたならば、徒に畏怖逡巡して機を逸し、取り残される事なく、此の新情勢、此の新形態に順應して思ひを新にし、勇往邁進する事こそ賢明であると云ふ結論も生じて来る。況して假令扱量が減るとも應分の賣物が入り、謂はゞ政府が或る意味に於て保證する需要があり、尙ほ國家が計畫的に需給を計り、統一されたる組織の下に於て配給するとすれば、理論的には損をして物を賣る事は無い筈で、常に5%の利益を見られるとは限らず、時には或は利益率の引下げを見る事が有るかも知れぬが、少く共賣値が仕入値段を下廻る事無く、今日の生産、配給の方針、機構を續ける限りは且つ正當にして正義の遣り方を探る限りに於ては必然的に共販の賣出値段は常に問屋組合値段を下廻て建てられる

筈なので儲けは少いが頭から損を見込んで商ひをすると云ふ事が無く、謂はゞ保證されると云ふ事も考へられぬではない。

金が有ればいくらでも買へると云ふ時は過ぎ、品物は自分の物、金はそつちの物と云ふ事も許されず、殊に鐵成金と云ふが如きは大それた昔の夢となつてそう云ふ點に於ては將に劃期的、天變動地の大變革なのではあるが、昨今は其處に意義を求めて到り、進路を探ねて達したやうに見られる。

兎に角、需要家は積極的に動けぬ時であり、市場人は過渡期に遭遇してゐる事として、共に戰意無く、沈滞鈍狀にして無味乾燥ではあるが、一頃より先行に見透しがついて來た事は確なので下追ひに過ぎた物は下げ止り、豫定線に近い物は下げ足が鈍て訂正安を辿りつゝも漸次氣配は落ち着いて來たやうである。

東京大阪市中相場

		上旬 {東京 3月7日 大阪 3月8日}				中旬 {東京 3月17日 大阪 3月18日}				下旬 {東京 3月28日 大阪 3月28日}			
		上旬		中旬		下旬		上旬		中旬		下旬	
		東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼													
6mm		23'00	23'90	23'00	23'20	22'50	23'50						
9		"	22'00	22'50	21'50	22'20	21'40						
12		"	23'00	"	22'80	"	22'80						
19		21'00	20'50	20'80	20'40	20'50	20'30						
25		"	"	"	20'10	"	20'20						
50		29'00	30'00	29'00	28'90	28'50	28'30						
65		30'00	"	30'00	30'90	30'00	29'30						
130		36'00	"	36'00	37'20	36'00	37'30						
150		38'00	"	38'00	30'00	38'00	38'00						
200		"	"	"	"	"	"						
角鋼													
9mm		25'50	25'00	25'00	24'40	24'50	24'30						
12		"	25'50	"	24'70	24'00	24'60						
16		25'00	23'00	"	21'70	"	21'70						
19		"	22'50	"	21'60	"	21'50						
38		29'00	30'00	29'00	28'60	28'50	28'50						
50		30'00	"	30'00	30'90	29'50	29'50						
65		"	"	"	34'20	30'00	34'00						
100		"	"	"	30'00	"	35'00						
平鋼													
3x25	mm mm	25'00	25'40	24'50	24'70	24'00	24'60						
9x19		24'00	25'00	23'00	23'90	21'50	23'30						
6x25		"	"	"	24'60	"	23'80						
6x38		22'00	24'00	21'00	23'60	20'50	22'80						
6x50		"	"	"	"	"	"						
6x75		26'00	24'20	25'50	23'70	24'50	23'40						
9x100		25'00	24'50	24'50	"	"	23'30						
12x100		"	"	"	23'60	"	"						
等邊山形鋼													
3x20x20	mm mm mm	35'00	35'00	33'00	34'20	32'50	32'80						
3x25x25		33'50	32'50	32'00	32'20	31'00	30'80						
5x40x40		25'70	24'00	24'50	26'30	23'50	23'80						
6x45x45		22'00	22'50	21'00	21'70	20'50	21'30						
6x50x50		"	"	"	"	"	"						
6x65x65		19'80	21'00	19'50	20'20	19'30	20'00						
9x75x75		"	"	"	"	"	"						
9x130x130		26'50	26'00	25'50	25'70	24'50	23'80						
12x130x130		"	"	"	"	"	"						
15x150x150		"	"	"	"	"	"						
不等邊山形鋼													
9x50x75	mm mm mm	25'00	26'00	24'50	24'70	23'50	23'30						
10x75x100		23'00	24'00	22'00	23'70	21'20	30'00						
10x90x125		"	"	"	"	"	22'30						
9x100x150		26'50	26'00	25'50	25'70	24'50	24'30						
12x100x150		"	"	"	"	"	"						
溝形鋼													
5x50x100	mm mm mm	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00						
6x65x125		"	"	"	"	"	"						
6.5x75x150		"	"	"	"	"	"						
7.5x80x200		"	"	"	"	"	"						
9x90x250		"	"	"	"	"	"						
10x90x300		"	"	"	"	"	"						
工形鋼													
5.5x75x150	mm mm mm	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00	30'00						
7x100x200		"	"	"	"	"	"						
10x125x250		"	"	"	"	"	"						
8x150x300		"	"	"	"	"	"						
12x150x350		"	"	"	"	"	29'70						
鋼板													
1.6x3'x6'	mm	27'00	27'00	26'50	26'20	26'00	25'80						
1.6x4x8		27'30	27'50	27'00	27'50	27'00	27'50						
1.6x5x10		35'00	30'00	35'00	30'00	35'00	30'00						
2.3x3x6		30'00	"	30'00	29'20	29'80	29'30						
2.3x4x8		32'00	"	32'00	30'00	32'00	30'00						
2.3x5x10		35'00	"	35'00	"	35'00	"						
3.2x3x6		30'00	"	30'00	31'20	30'00	30'30						
3.2x4x8		"	"	"	32'00	"	32'00						
3.2x5x10		"	"	"	"	"	"						
4.5x3x6		"	"	"	"	33'20	"						
4.5x4x8		"	"	"	"	30'70	"						
4.5x5x10		"	"	"	"	31'20	"						
6.0x4x8		"	"	"	"	30'20	"						
6.0x5x10		29'50	"	29'00	29'70	29'00	28'80						
9.0x4x8		26'20	25'80	25'70	25'50	25'70	26'30						
9.0x5x10		"	"	"	"	"	24'80						
12x4x8		"	"	"	25'8	"	25'30						
薄鋼板 (13枚)													
川崎		'94	1'00	'94	'94	'94	'93						
八幡		"	"	"	"	"	"						
ブリキ													
英	{170lbs	40'00	40'00	40'00	40'00	40'00	40'50						
	{200	41'00	41'50	41'00	41'50	41'00	41'70						
米	{170	39'50	40'50	39'50	40'50	39'50	41'00						
	{200	40'00	41'00	40'00	41'00	40'00	41'50						
八幡	{170	39'00	39'00	39'00	39'50	39'00	38'50						
	{200	40'00	40'00	40'00	40'00	40'00	40'00						
W.W	200薄口	"	39'00	39'00	39'30	39'00	39'00						
線材													
B. W. G. #5		205'00	237'00	205'00	235'00	203'00	235'00						

備考 單位 100 kg につき (置場値段), 但し薄板は1枚當り。線材は吨當り。ブリキは1函當り。

昭和13年2月分 鋼材建値一覽表 (日本鋼材聯合會)
(其 の 1)

組 合 名	建値月日	種 類	値 段	積 月	備 考	
半製品共同販賣組合	2月25日	鋼塊	150 ^円	3月積	据置	
	〃	鋼片	165	〃	〃	
	〃	ブス	165	〃	〃	
	〃	ラ	170	〃	〃	
	〃	シ	180	〃	〃	
棒鋼共同販賣組合	2月22日	小形	185	4月積	据置 日鐵製品	
	〃	〃	200	〃	〃 195 ^円	
	〃	〃	200	〃	〃 195	
	〃	中形	210	〃	〃 195	
	〃	〃	210	〃	〃 195	
形鋼共同販賣組合	2月23日	小形山形鋼	215	4月積	据置	
	〃	〃	205	〃	〃	
	〃	〃	195	〃	〃	
	〃	中形山形鋼	190	〃	〃	
	〃	〃	200	〃	〃	
	〃	大形山形鋼	200	〃	〃 日鐵製品	
	〃	〃	205	〃	〃 180 ^円	
	〃	中形	210	〃	〃 180	
	〃	大形	210	〃	〃 190	
鋼板共同販賣組合	2月23日	先物	185	—	据置	
	〃	耳付	6mm	190	—	〃
	〃		4.5	190	—	〃
	〃		3.2	—	—	〃
	〃		—	—	—	〃
	〃	大形	6mm	195	—	〃
	〃		4.5	200	—	〃
	〃		3.2	—	—	〃
	〃	定尺	6mm	215	—	〃
	〃		4.5	220	—	〃
〃	3.2		220	—	〃	
〃	—		225	—	〃	
線材共同販賣組合	2月22日	5.5mm	190	3~4月積	据置	
	〃	6mm	188	〃	〃	
	〃	太熔	220	〃	〃	
	〃	炭	245	〃	〃	
	〃	硬	230	〃	〃	
	〃	硬	240	〃	〃	
	〃	電	260	〃	〃	
	〃	含	250	〃	〃	
	〃	錳	230	〃	〃	
	〃	線	220	〃	〃	
帶鋼共同販賣組合	2月23日	0.9~1mm	19~24mm	285	2~3月積	据置
	〃		25~35	275	〃	〃
	〃		36~85	260	〃	〃
	〃		86~105	270	〃	〃
	〃	1.1~1.3mm	19~24mm	280	〃	〃
	〃		25~35	265	〃	〃
	〃		36~49	255	〃	〃
	〃		50~121	250	〃	〃
	〃	1.4~2mm	122~150	255	〃	〃
	〃		19~24mm	270	〃	〃
	〃		25~35	255	〃	〃
	〃		36~49	250	〃	〃
	〃		50~121	245	〃	〃
	〃		122~150	250	〃	〃
	〃		151~170	255	〃	〃

(其 の 2)

組 合 名	建値月日	種 類	値 段	積 月	備 考
帯鋼共同販賣組合	2月23日	厚さ 2.1~2.5mm	幅 25~35mm	255円	2~3月積 据置
	〃		36~49	250	
	〃		50~121	245	
	〃		122~150	250	
	〃		151~170	255	
	〃		25~35mm	255	
	〃	2.6~3mm	36~49	250	
	〃		50~121	240	
	〃		122~150	245	
	〃		151~170	250	
	〃				
	〃				

- 摘 要 (1) 本建値は指定問屋への販賣値段なり。
 (2) 本建値は共販の指定河岸渡値なり。
 (3) 指定問屋は販賣に際し5%以内の口銭を收得す。
 但し問屋より需要者迄の運賃は別に加算するものとす。

(其 の 3)

組 合 名	建値月日	種 類	値 段			積 月	備 考
			ねぢ附(白)	ねぢ附(黒)	ね ぢ 無		
鋼管共同販賣組合	2月25日	内 徑	1呎に付	1呎に付	1呎に付	3月積	
	〃		円	円	円		
	〃		3/8"	141	108		106
	〃		1/2"	180	139		136
	〃		3/4"	228	176		172
	〃		1"	308	241		236
	〃		1 1/4"	430	344		337
	〃		1 1/2"	516	417		409
	〃		1 3/4"	623	506		496
	〃		2"	684	557		546
	〃		2 1/4"	910	759		744
	〃		2 1/2"	1030	859		842
	〃		3"	1180	990		970
	〃		3 1/2"	1440	1220		1200
	〃		4"	1580	1330		1300
	〃		4 1/2"	1950	1670		1640
	〃		5"	2130	1820		1780
	〃		5 1/2"	2380	2020		1980
	〃		6"	2600	2210		2170
	〃		7"	3420	2910		2850
	〃		8"	4210	3610		3540
	〃		9"	5000	4310		4220
	〃		10"	5910	5090		4990
	〃		12"	7420	6400		6270

- 注 意 (1) 線材共販の問屋口銭は3%以内とす。
 (2) 帯鋼共販の問屋口銭は7%以内とす。
 (3) 鋼管共販の問屋口銭は6%にして建値の中に加算しあり。
 (4) 特殊寸法及規格品にはエキストラ及規格料を付し2級品は値引をなす。

4月中の日本鋼材聯合會關係會議の日程			日 期	組 合 名	場 所
7日(木)	日本鋼材聯合會常務委員會	東京	13日(水)	帯鋼共同販賣組合理事會	東京
	棒鋼共同販賣組合理事會	東京	22日(金)	棒鋼共同販賣組合理事會	大阪
		東京		線材共同販賣組合理事會	大阪
8日(金)	形鋼共同販賣組合理事會	東京	23日(土)	形鋼共同販賣組合理事會	大阪
	鋼板共同販賣組合理事會	東京		鋼板共同販賣組合理事會	大阪
12日(火)	半製品共同販賣組合理事會	東京			

昭和13年3月分 鋼材建値一覽表 (日本鋼材聯合會)
(其のI)

組 合 名	建 値	種 類	値 段	積 月	備 考			
半製品共同販賣組合	3月11日	鋼塊片	150 ^円	4月積	据置			
	"	鋼	165					
	"	ブ	165					
	"	ス	170					
	"	シ	180					
	"	テ	187					
棒鋼共同販賣組合	3月23日	小形	185	5~6月積	据置 日鐵製品			
	"	"	200			195 ^円		
	"	"	200			195		
	"	中形	210			195		
	"	"	210			195		
形鋼共同販賣組合	3月24日	小形山形鋼	215	5~6月積	据置 日鐵製品			
	"	"	205			180 ^円		
	"	"	195			180		
	"	中形山形鋼	190			190		
	"	"	200			185		
	"	大形山形鋼	200			190		
	"	"	205			185		
	"	中形	210			190		
	"	"	210			185		
	"	大形	210			185		
鋼板共同販賣組合	3月24日	先物	185	—	据置			
	"	耳付	小形			190		
	"					6mm	190	
	"					4.5	—	
	"		大形			195		
	"					6mm	200	
	"					4.5	—	
	"	定尺	215					
	"		6mm			220		
	"		4.5			220		
"	3.2		225					
線材共同販賣組合	3月23日	5.5mm	190	4~5月積	据置 小倉製品			
	"	6	188			230 ^円		
	"	太熔低半硬電含鎧	炭素鋼信			220	240 ^円	
	"					番接 (7~13mm) 用鋼	245	
	"						硬鋼	250
	"					A		240
	"						B	260
	"					線		250
	"						用鋼裝	230
	"						220	
"		240						
帶鋼共同販賣組合	3月10日	厚さ	幅	3~4月積	据置			
	"	0.9~1mm	19~24mm			285		
	"		25~35			275		
	"		36~85			260		
	"		86~105			270		
	"	1.1~1.3mm	19~24mm			280		
	"		25~35			265		
	"		36~49			255		
	"		50~121			250		
	"	1.4~2mm	122~150			255		
	"		19~24mm			270		
	"		25~35			255		
	"		36~49			250		
	"		50~121			245		
	"		122~150			250		
"	151~170		255					

(其 の 2)

組 合 名	建値月日	種 類	値 段	積 月	備 考
帯鋼共同販賣組合	3月10日	厚さ 幅 2'1~2'5mm	25~35mm 255 ^円	3~4月積	据 置
	"		36~49 250		
	"	2'1~2'5mm	50~121 245	"	"
	"		122~150 250	"	"
	"		151~170 255	"	"
	"		25~35 255	"	"
	"	2'6~3mm	36~49 250	"	"
	"		50~121 240	"	"
	"		122~150 245	"	"
	"		151~170 250	"	"

(其 の 3)

組 合 名	建値月日	種 類	値 段			積 月	備 考
			ねぢ附(白)	ねぢ附(黒)	ね ぢ 無		
鋼管共同販賣組合	3月22日	内 徑	1呎に付 ^円	1呎に付 ^円	1呎に付 ^円	4 月 積	
	"		3/8" 141	108	106		
	"		1/2" 180	139	136		
	"		3/4" 228	176	172		
	"		1" 308	241	236		
	"		1 1/4" 430	344	337		
	"		1 1/2" 516	417	409		
	"		1 3/4" 623	506	496		
	"		2" 684	557	546		
	"		2 1/4" 910	759	744		
	"		2 1/2" 1'030	859	842		
	"		3" 1'180	990	970		
	"		3 1/2" 1'440	1'220	1'200		
	"		4" 1'580	1'330	1'300		
	"		4 1/2" 1'950	1'670	1'640		
	"		5" 2'130	1'820	1'780		
	"		5 1/2" 2'380	2'020	1'980		
	"		6" 2'600	2'210	2'170		
"	7" 3'420	2'910	2'850				
"	8" 4'210	3'610	3'540				
"	9" 5'000	4'310	4'220				
"	10" 5'910	5'090	4'990				
"	12" 7'420	6'400	6'270				